



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第86号

2010年5月

発行：CTF松阪

NPO 法人 CTF 松阪

平成 22 年度通常総会開催について（ご案内）

CTF 松阪 会長 川 口 保 美

NPO 法人 CTF 松阪の平成 22 年度通常総会を下記のとおり開催いたします。

正会員の皆様方には、ご多用中のところ恐れ入りますが、何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成 22 年 5 月 22 日（土）11 時から 12 時まで（予定）
2. 場 所 まどみのやかた見庵（松阪市魚町 1643 番地、本居宣長旧宅跡向い）
3. 審議事項
 - （1）平成 21 年度事業報告の件
 - （2）平成 21 年度収支決算の件
 - （3）平成 22 年度事業計画の件
 - （4）平成 22 年度収支予算の件
4. その他
 - （1）出欠につきましては、同封の「出欠連絡票」（ハガキ）にて、5 月 14 日までに届くようにお返事ください。なお、欠席の方は、委任状部分に必要な事項をご記入ください。
 - （2）駐車場は、魚町マックスバリュー跡にある牛銀様の第二駐車場をご利用ください。
 - （3）総会終了後ごゆっくり懇談していただけるよう、お弁当をご用意いたします。

以上



愛郷無限

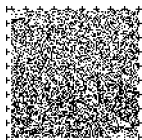
まず、私ごとですが3月定年退職いたしました。やっと肩の荷が下りたような気がします。

ふり返ってみれば、42年間の勤務のなかで、8年前心筋梗塞の手術のときはもうダメかと思いました。その後故郷で多くの人の協力で始めた、ゲンジボタルの養殖と炭焼きにより、体力と気力の充実が図られたと思います。私にとって故郷は命の恩人です。

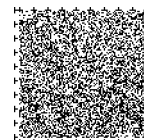
しかし、炭焼きはそれなりの成果を上げる事ができましたが、蛍の養殖では、水が冷たいため餌のカワニナが育ちません。もともと私たちの地区（以後相津地区）は、ヒメボタルの生息地でゲンジボタル自体生息していません。カワニナの育ちが悪いのが納得いきます。ちなみに、日本での蛍の生息分布はゲンジボタルとヘイケボタルで80%、ヒメボタル他が20%だそうです。他の地域でヒメボタルは絶滅危惧種に指定されている所もあり、そこから相津地区はヒメボタルにとっては貴重な自然なのです。

この貴重な自然を大切にしたいのですが、少しずつ確実に失われて行くのが残念です。

感謝の丘・・・ほたる窯 代表 三田 守



今月号は文字数が多いので、第1ページと第2ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第2ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





プログラム言語 (1)

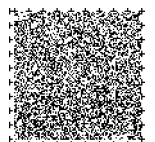
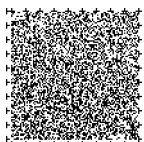
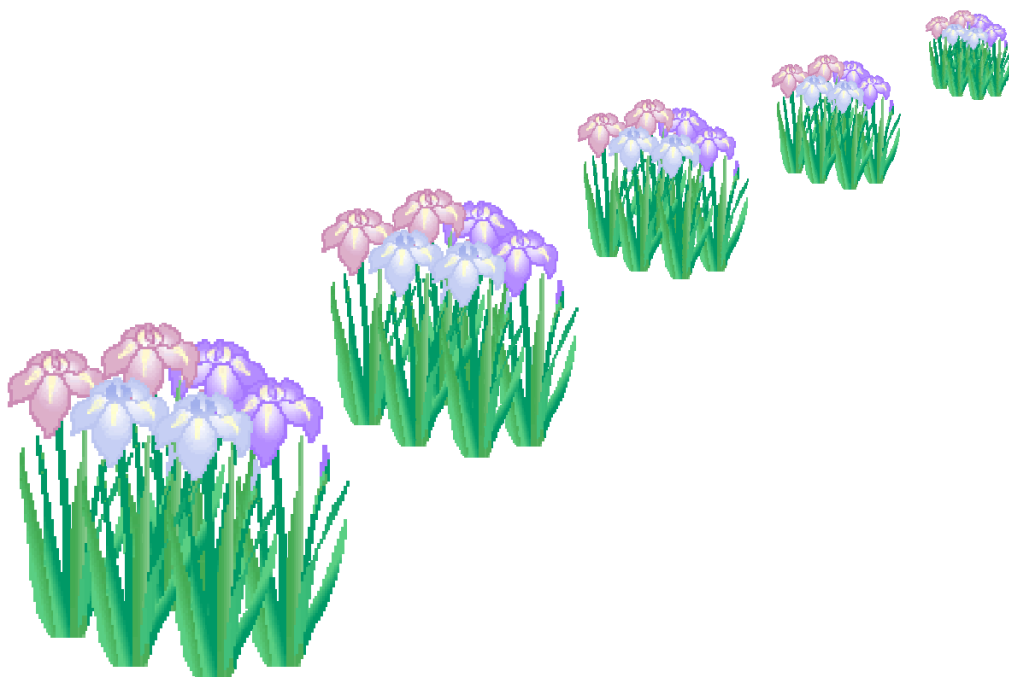
プログラムを作るためにどうしても必要なのが「プログラム言語 (プログラミング言語)」です。例えば数当てゲームは JavaScript というプログラム言語で書かれています。BASIC、C、C++、Java、Ruby など、皆さんもプログラム言語の名前くらいはいろいろと見たり聞いたりしたことがあるのではないかと思います。では、なぜプログラム言語が必要なのでしょう。最大の理由はコンピュータの言葉と人間の言葉のギャップがあまりにも大きすぎることにあります。

コンピュータに直接指示を下す唯一の手段は「機械語 (マシン語)」という言語です。コンピュータにどのような仕事をさせる場合でも、その指示は最終的には機械語になっていなければなりません。それ以外の方法で指示してもコンピュータは全く理解できないのです。「でもマウスやキーボードでコンピュータを操作できるのでは？」と思うかもしれませんが、しかしそれも機械語で書かれたプログラムのおかげなのです。コンピュータの中では、マウスの動きを読み取って画面上のマウス・カーソルを追従させたり、どのキーがタイプされたかを調べて対応する文字を画面上に表示したりする機械語のプログラムが動いているのです。それらがコンピュータに指示を出すことで、マウスやキーボードでコンピュータによる操作が実現できるのです。ハードディスクの読み書きや画面表示も、やはり機械語のプログラムがコンピュータに指示を出すことで実現されています。皆さんがこのようなプログラムをあらためて書く必要はありません。だからといってプログラムが不要なわけではなく、だれかがすでにそのようなプログラムを用意してくれているわけです。

機械語は、ごく単純な処理を実行する命令群で構成されています。そのぶん機械語の個々の命令は極めて高速に実行できますが、我々がコンピュータを使って実現したい機能とはあまりにもかけ離れた原始的な機能しか持っていません。画面に文字列を表示する、ハードディスクを読み書きする、といった命令すらありません。ごく短いプログラムならともかく、複雑なソフトをすべて機械語で書くのは実際のところ不可能です。

プログラム言語は、そのような機械語の機能と人間の望む機能とのギャップを埋めてくれる存在です。プログラム言語を使うと、機械語よりもはるかに人間にわかりやすい形でコンピュータへの指示を書くことができます。例えば「alert(“自分の名前”)」という命令を書けばウィンドウが現れて「自分の名前」が表示されたり、数式を書けば順序よく計算するなど、一定の規則に従って文字を並べていくことで思った通りにコンピュータを操作できるのはプログラム言語のおかげなのです。

つづく



第 31 回理事会開催

4月10日(土)松阪市障害者福祉センター(松阪市殿町)において、理事10名が出席し、第31回理事会を開催しました。内容は次のとおりです。



1. 最近の活動状況の報告
2. 平成22年度通常総会の開催についてその他の審議
平成22年5月22日(土)11時~12時 見庵にて開催を決定

活動報告

【4月】

理事会 (10日)
障害者対象個人向けパソコン講座
(6日、13日、20日、27日)
訪問ITサポート
(14日(2件)、15日)

活動予定

【5月】

平成22年度通常総会 22日
11:00~12:00 まどみのやかた見庵にて
障害者対象個人向けパソコン講座
11日、18日、25日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記



実百樹(みゆき)

松阪の夜の繁華街愛宕町にほど近い挽木町に懐石料理のお店「実百樹」(みゆき)があります。

今月号のおすすめは、「おてごろランチ」です。

山、海、野の自然の素材を大切に扱う日本料理の味が、落ち着いた雰囲気の中で、予想外のお値打ち価格で味わえます。

右の写真は、おてごろランチ 700円



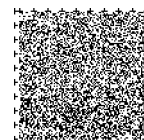
所在地：松阪市挽木町 383-1

電話：0598-21-3663

営業時間：11:00~14:00

16:30~22:00(LOは21:30)

定休日：毎週月曜日



貝採り



NY2010

今年の桜は二週間近くも楽しませてくれましたが、その季節も過ぎて、春もたけなわとなってきました。ここ二、三年、水産業も私の仕事の一つになり、ハゼやキス釣り、アサリ・シジミ・バカ貝採りなどを楽しんでいます。

シジミは何ととっても櫛田川ですね。三角屋根が特徴のJAの建物近くで国道23号線を降りて、上流へ100mか200mくらい行った所が穴場です。車で10分ちよつとの距離ですから近くて便利です。櫛田川は鮎が獲れるような清流ですから、シジミも安心して食べられます。ただ、去年の秋以降、採れる量がずいぶんと減りました。台風で流されたという話もありますが、本当はどうなのでしょう。

一方、バカ貝は津のフェリー乗り場に近い贅崎（にえざき）海岸です。大きいバカ貝が沢山採れます。バケツ一杯採ると、砂を取り除くのに5時間近く掛かっていたのですが、去年、簡単な方法を香良洲の友人に教えてもらったところ、半分の時間で砂を取り除くことができるようになりました。先人やベテランの知恵というのはすごいですね。

こういう貝採りは大潮で干潮の時を狙って行きますから、事前にインターネットでそれらの日時を調べてから出かけます。皆さんも貝採り、如何ですか。大人でも楽しいですが、幼児から小学生の子供たちは大喜びですよ。



編集後記

1年たつのは早いですね。

皆様に会える、総会の時期になってきました。この時にしか、お顔を拝見できない方もいらっしゃいます。

皆様のご参加、お待ちしております。



CTF 通信第 86 号

2010年(平成22年)5月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

